

事業の概況

■ 経営環境

我々系統組織を取り巻く環境は、組合員の高齢化・人口減少による経営基盤の縮小、マイナス金利政策の長期化による資金収支の減少など極めて厳しい状況にあります。

事業環境の厳しさが増すなか、農協改革集中推進期間の期限および改正農協法5年後検討条項の期限が迫り、J Aが組合員・利用者のみならず、地域からも評価が得られるように、自己改革の完遂に向け、邁進している状況にあります。

こうした情勢のもと、平成30年度は中期経営計画（平成28年度～平成30年度）の総仕上げの年度として、基本戦略である「安定的収益還元機能の強化」、「J Aバンクえひめ本部機能の強化」および「J Aバンク自己改革の実践」に取り組みました。

「安定的収益還元機能の強化」については、有価証券の計画的な投資に取り組むとともに、地場企業および農業関連法人などへの新規開拓による貸出残高増強に取り組みました。

「J Aバンクえひめ本部機能の強化」および「J Aバンク自己改革の実践」では、農業振興・地域活性化に資する施策として「J Aバンクえひめ農業所得増大・地域活性化応援プログラム」のもと農産加工品の販路拡大の支援や情報発信として、県内外での商談会や海外見本市へJ Aとともに積極的に参加しました。

また、J Aバンクえひめ中期戦略に掲げる「愛媛県下J A貯金2兆円の達成」に向け県内統一企画の支援を行い、J Aと当会が一体となり強力に展開したことによりJ A貯金2兆円を突破することができました。

更に、「集める貯金」から「集まる貯金」による調達コストの削減や、J A信用事業推進の変革に向けた取り組みとして、信用渉外担当者の営業力強化および管理者のマネジメント力強化を図るため、信用渉外担当者営業支援システム「マブレッツ」を導入しました。

地域貢献活動として「愛媛マラソン」や「J Aバンクえひめカップ第2回愛媛県小学生男子ソフトボール大会」などの地域イベントへの協賛を行ったほか、J Aバンクアグリサポート事業の展開として、県内小学5年生に対し教材本の贈呈やJ Aにおける教育活動助成事業の支援を継続するとともに、食農教育の一環として、県内の小学生および教職員に対して、「8020ヨーグルト」と小冊子「J Aバンクえひめ「食と農のおはなし」」の贈呈を行いました。

また、J Aの実施する中山間地域における金融サービスの確保・地域貢献ならびに大規模災害発生時の金融対応策として、当会が保有している「移動金融店舗車」について、「平成30年7月豪雨」発生時には即時出動させ被災した組合員などへのきめ細やかな金融サービスを行いました。

被災J Aに対しては、信用端末機を貸し出し、顧客対応として当県初となる「県内相互連携」を発動させました。

更に、農業者向け支援として「J Aバンクえひめ農業災害対策資金」を、生活者向け支援として「J Aバンクえひめ災害復旧ローン」を創設し、当会職員延べ196名を現地に派遣して、被災J A・被災農家への支援活動・ボランティアを展開しました。

以上のような取り組みの結果、経常利益、当期剰余金ともに計画を上回る実績を収めることができました。

■ 業績

平成31年3月末の県内JA貯金残高は2兆94億円となり、前年同月比540億円増加しました。

JA貸出金残高は3,265億円となり、前年同月比182億円増加しました。

当会の資金調達では、平成31年3月末貯金残高は1兆6,376億円となり、前年同月比463億円増加し、平成30年度期中平均残高は1兆6,280億円で、前期比644億円増加しました。

一方、資金運用では、預け金残高は1兆150億円となり、前年同月比19億円増加し、期中平均残高は1兆535億円で、前期比390億円増加しました。

貸出金残高は917億円となり、前年同月比32億円減少し、期中平均残高は987億円で、前期比72億円増加しました。

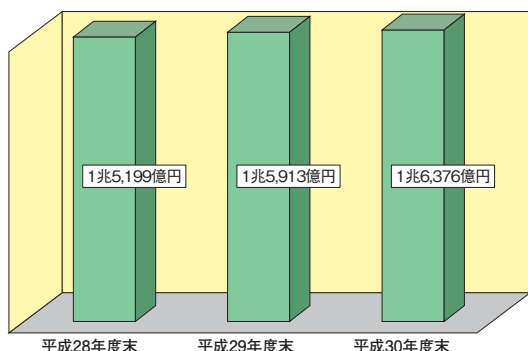
有価証券残高は5,905億円となり、前年同月比437億円増加し、期中平均残高は5,364億円で、前期比320億円増加しました。

事業収支では、経常収益は198億5千6百万円、経常費用は145億8千1百万円となりました。この結果、経常利益は52億7千5百万円で、前期比11億1千万円の増益となりました。また、当期剰余金は43億8千1百万円で、前期比8億9千5百万円の増益となりました。

資金調達および資金供給の状況

信連の資金調達の状況

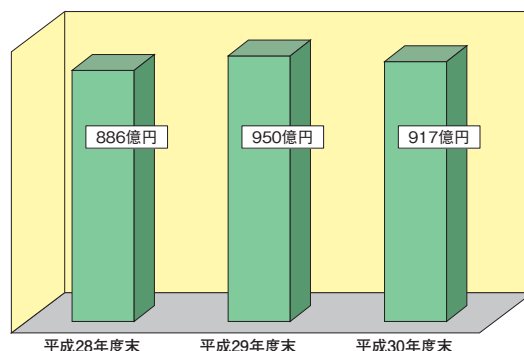
信連貯金等残高の推移



当会の貯金等の残高は、平成31年3月末現在 1兆6,376億円となり、前年比463億円増加しました。

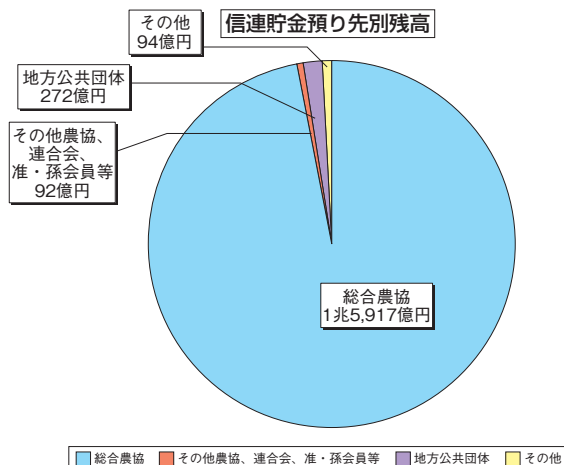
信連の貸出金の状況

信連貸出金残高の推移



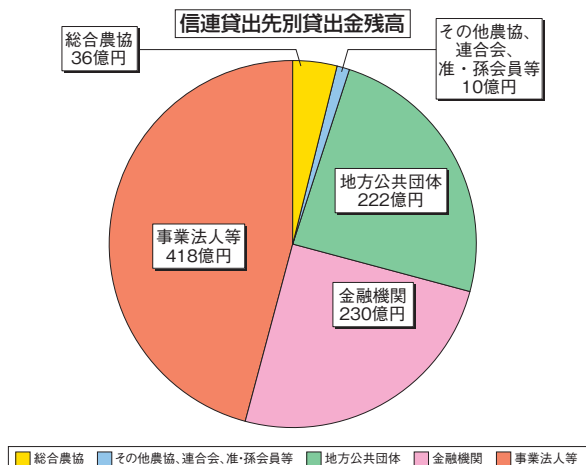
当会の貸出金の残高は、平成31年3月末現在 917億円となり、前年比32億円減少しました。

信連貯金預り先別残高



当会の資金調達は主として総合農協（JA）からの貯金によるものです。

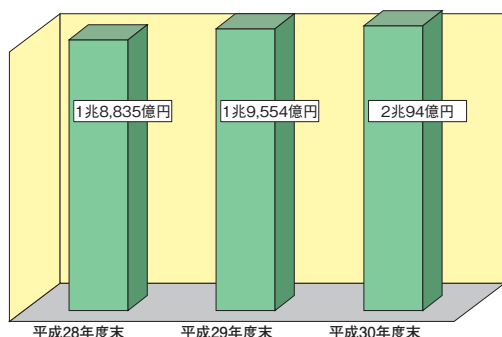
信連貸出先別貸出金残高



県内JAおよび当会にお預りしている貯金等を原資として、地域の皆さまのさまざまな資金ニーズにお応えするためにご融資を行っています。

JAの資金調達の状況

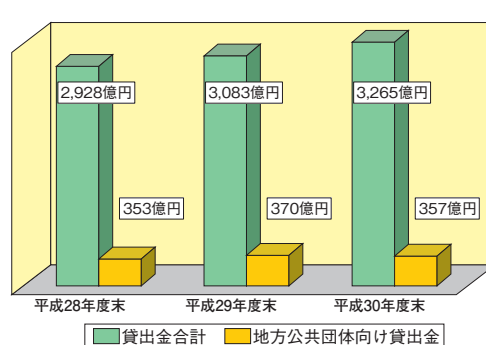
JAの貯金等残高の推移



JAが組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりしている貯金等の残高は、平成31年3月末現在 2兆94億円となり、前年比540億円増加しました。

JAの貸出金の状況

JAの貸出金残高の推移



JAは、お預りしている貯金等を原資として、組合員・地域の皆さまのさまざまな資金ニーズにお応えするためにご融資を行っています。平成31年3月末現在の貸出金残高は3,265億円、うち地方公共団体向け貸出金は357億円です。